

昨年10月頃、黒船仲通り商店街の**揚げたて屋**に、鮮やかなシャッターアートが完成しました。

この制作風景を短編ドラマに仕上げた『久里浜グラフィティ』は、

タウンニュース公式YouTubeチャンネルにて、現在配信中です！(リンクは右記QRコード)

地元商店街の“元気”がたくさん詰まったドラマは必見です！

今回は、主演を務めた横須賀総合高等学校卒業生の**翠川 萌夏さん**に作品の魅力を伺いました。



ショートムービー『久里浜グラフィティ』 スペシャルインタビュー



▲エネルギッシュなシャッターアート。営業時間外にじっくりご覧になれます。

—シャッターアートを描くのは初めてですか？楽しかった点や苦勞した点がありましたら、教えてください。

翠川 シャッターアートの制作は、今回が初めてでした。ここまで大きな作品を作ったのも初だったので、腕いっぱい勢よく刷毛を滑らせて描くのは新鮮で楽しかったです。その一方で、大きな作品である分、制作中は全体像が見えにくい部分もあり、とても苦勞しました。



◀商店街の店主たちも出演！商店街全体で作上げた作品です。

—『久里浜グラフィティ』の中で、一番お気に入りのシーンはどこですか？

翠川 シャッターアートが完成した時のギャラリーの反応のシーンです。地元の方々の温かさを感じられて好きです。

—完成したシャッターアートの「ここを見てほしい」というこだわりの点を教えてください。

翠川 商店街でシャッターの前を通る時にもう一つ道があるような気持ちで通り過ぎたり、立ち止まったりしていただけたらいいなと思っています。

また、配色の明るくポップなイメージをそのまま実際の商店街に投影していただけたらという願いもあります。

—作品をご覧になった方、これからご覧になれる方へ一言お願いします。

翠川 作品の内容も、携わった方々も、地元縁があり、それらが集まって完成した作品なので、久里浜そのものの良さが染みて出ています。感染症対策のため、人々の行動が制限される状況ではあります。作品をご覧になって感じた久里浜の良さや温かさを、実際に足を運んで感じていただけたらいいと思います。



▲冒頭シーンの舞台は久里浜海岸。青春ストーリーに相応しい美しい風景ですが、美術部部長である主人公の心は晴れず……。横総生ならではの悩みが描かれたストーリー、卒業生・翠川萌香さんの等身大の演技に注目です！

—横須賀総合高校に通っている時に、思いに残った場所がありますか？

翠川 美術部での制作に行き詰まる部室の閉鎖的な空間に耐え切れなくなり、久里浜海岸に行くことがありました。そういった経験から、海には開放的なイメージを持っています。



久里浜行政センター



くりはまニュースのバックナンバーは、久里浜観光協会公式サイトでご覧いただけます。

